

木曾川上流河川事務所が取り組む防災・河川環境教育のモデル校である岐阜市立岐阜小学校において、木曾川上流河川事務所が作成した教材(災害写真・年表・位置図、公助や共助の取り組みについての資料等)を活用した授業が実施されました。

- 日 時：平成30年3月5日(月)～3月14日(水)のうち全6時間
 - 場 所：岐阜市立岐阜小学校
 - 対 象：岐阜小学校5年生 ※全学級(2クラス:41名)対象
 - 担 当：岐阜小学校 篠田先生
 - 単 元：「自然災害を防ぐ」
 - 教 材：全国及び岐阜市内の自然災害に関する写真・年表・位置図等
公助に関する資料(国交省や岐阜市の取り組みや連携について等)
共助に関する資料(水防団や自主防災隊の活動について等)
- ※先生のご意見を伺いながら教材を作成し、授業に活用していただきました。
今後は、今回の授業を参考に、指導計画等の作成を進めていきます。

授業の内容

- ・1,2時間目(3/5) 日本ではどのような自然災害が発生しているのだろうか
- ・3時間目(3/7) 自然災害を防ぐために、国はどのような取り組みをしているのだろうか
- ・4時間目(3/8) 国でも陸閘や水門を作っているのにもかかわらず、どうして岐阜市も貯留槽をつくるのだろうか
- ・5時間目(3/12) 洪水が予想される岐阜小学校区では、どのような対策がされているのだろうか(公助や共助の面から)
- ・6時間目(3/14) 自然災害からわたしたちの命や生活を守るために、わたしたちはどんなことができるだろう

【 社会科授業「自然災害を防ぐ」での活用例 】



全国の災害写真・年表・位置図等(1,2時間目)



国交省の取り組み写真等(3時間目)



取組に対する国交省の願い(3時間目)



岐阜市の災害写真・年表等(4時間目)
岐阜小学校区版ハザードマップ



取組に対する岐阜市の願い(4時間目)



水防団、自主防災隊の活動資料(5時間目)

児童達の反応や意見など

【授業で感じたことや分かったこと】

- ・国と市で立場は違っても、生活や命を守る願いは同じで、国と市で連携して行くことで自然災害を減らしている。
- ・水防団や自主防災隊が訓練などを行っているのは、自分達のまちは自分達で守るという願いがあるからだと思う。
- ・公助は施設などを整備して、多くの命を守るというような考えで、共助は自分達のまちは自分達で守るという考えであり、どちらも願いは同じで、公助と共助は連携していると感じた。等

【わたしたちにできること】

- ・避難訓練などに積極的に参加し、みんなにも参加してもらえるようポスターなどで周知する。
- ・日頃から自然災害について関心を持ち、家族と話し合い、避難場所や避難経路を確認しておく。
- ・災害に関心を持つために、日頃からニュースやインターネットなどで情報を得るようにする。等